

高円宮杯2015ホッケー日本リーグ【男子】 第7節 第12日

開催日時 9月5日(土) 会場 岐阜県グリーンスタジアム 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合A NO.55 10:00	東京農業大学	3	$\begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 2 & -1 \\ 0 & -0 \\ 1 & -1 \end{pmatrix}$	2	法政大学
第2試合A NO.56 11:40	岐阜朝日クラブ	6	$\begin{pmatrix} 2 & -0 \\ 0 & -0 \\ 1 & -1 \\ 3 & -1 \end{pmatrix}$	2	LIEBE栃木
第3試合A NO.57 13:50	名古屋フラーテル	4	$\begin{pmatrix} 1 & -0 \\ 2 & -0 \\ 0 & -1 \\ 1 & -0 \end{pmatrix}$	1	山梨学院OCTOBER EAGLES
第4試合A NO.58 15:30	天理大学ベアーズ	8	$\begin{pmatrix} 0 & -2 \\ 2 & -0 \\ 3 & -0 \\ 3 & -1 \end{pmatrix}$	3	Selrio島根
第1試合B NO.59 11:00	福井クラブ	2	$\begin{pmatrix} 2 & -2 \\ 0 & -2 \\ 0 & -0 \\ 0 & -2 \end{pmatrix}$	6	立命館大学ホリーズ
第2試合B NO.60 12:40	ALDER飯能	0	$\begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 0 & -1 \\ 0 & -1 \\ 0 & -1 \end{pmatrix}$	4	診療印刷
第3試合B NO.61 14:20	小矢部RED OX	2	$\begin{pmatrix} 1 & -0 \\ 0 & -0 \\ 0 & -0 \\ 1 & -0 \end{pmatrix}$	0	駿河台大学

【各試合の結果・詳細】

第1試合 A

東京農業大学 3 $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 2 & - & 1 \\ 0 & - & 0 \\ 1 & - & 1 \end{pmatrix}$ 2 法政大学

勝点 9 勝点 4

3 勝 0 分 6 敗

3	PC	1
6	シュート数	6

 1 勝 1 分 7 敗

得点	東京農大→26分#14瀬川、29分#19和氣、58分#15内田
	法政大→27分#23根本、49分#8松本
戦評	法政大学のセンターパスにより試合が開始された。第1Qは両者得点を入れることができず、第2Qに入る。26分東京農大#14瀬川のヒットシュートが決まり先制点を挙げる。すぐさま27分法政大#23根本がプッシュシュートを決め、1-1の同点にする。第2Q終了間際の29分、東京農大#19和氣が、#15内田からのセンターリングをタッチシュートで決め2-1とし前半を折り返した。第3Qは、お互いチャンスをものにできず2-1のまま第4Qに入る。第4Q開始早々に法政大が、この試合初めてのPCを取得するが決めることができず。しかし、49分法政大#8松本がリバースシュートを決め2-2の同点とする。58分東京農大がPCを取得し、#15内田がフリックシュートを決め3-2。再び東京農大がリードする。1点差を守りきり、3-2で東京農大が勝利した。

テクニカルオフィサー	大橋 守	アンパイア	西澤英一郎
ジャッジ	梶田 賢二		中元大輔

第2試合 A

岐阜朝日クラブ 6 $\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 1 & - & 1 \\ 3 & - & 1 \end{pmatrix}$ 2 LIEBE栃木

勝点 12 勝点 2

4 勝 0 分 4 敗

3	PC	2
13	シュート数	6

 0 勝 2 分 5 敗

得点	岐阜朝日→2分・54分#20川畑、4分#16杉下、45分・49分#30大崎、58分#10辻
	L栃木→43分#1石村、57分#4那須
戦評	岐阜朝日クラブのセンターパスで試合が開始された。第1Q2分、岐阜朝日#10辻がドリブルで持ち込みそのままシュート。そのリバウンドを#20川畑が押し込み先制点を挙げる。すぐさま4分には、#16杉下がヒットシュートを決め2-0とする。第2Qに入り、LIEBE栃木がPCを取得するが得点に至らず。岐阜朝日もカウンターで追加点を狙うが決めることができず2-0で前半を折り返す。第3Qに入り、岐阜朝日がPCを獲得するが得点することができない。逆にL栃木が43分、センターリングを#1石村がタッチシュートを決め2-1。1点差に攻め寄る。しかし、45分には岐阜朝日の#30大崎がタッチシュートを決め3-1。再び2点差とする。第4Q49分にも#30大崎がゴールを決め4-1と突き放す。54分には、岐阜朝日#20川畑が本日2点目を決め5-1とする。57分、L栃木の#4那須がタッチシュートを決め5-2とするが、その直後の58分に、岐阜朝日はPCを獲得し、#10辻が決め6-2とし試合終了。岐阜朝日が勝利を収めた。

テクニカルオフィサー	西松孝治	アンパイア	木下英貴
ジャッジ	後藤憲則		元宗宏寿

第3試合 A

名古屋フラーテル 4 $\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix}$ 1 山梨学院OCTOBER EAGLES

勝点 25 勝点 18

8 勝 1 分 0 敗 5 勝 3 分 3 敗

1	PC	2
14	シュート数	4

得点	名古屋F→14分#11川上、16分#9藤本、28分#18井島、59分#4小野
	山梨学院→31分#28上澤
戦評	<p>名古屋フラーテルのセンターパスで試合が開始された。第1Q14分、名古屋Fの素早いパス回しからのセンターリングを、#11川上がタッチシュートを決め先制点を挙げる。第2Qの開始早々の16分、名古屋Fの#9藤本がGKからのリバウンドを押し込み2-0とする。更に28分、名古屋Fはドリブルでサークルに侵入。こぼれ球を#8井島が反応し3点目を決め山梨学院を突き放し、3-0で前半を折り返す。</p> <p>第3Q早々、#6山崎がドリブルで切り込み、31分山梨学院の#28上澤がシュートを決め3-1とする。その後、両者一進一退の攻防が続くが得点が入らない。第4Qに入り、山梨学院がPCを取得するが名古屋Fの粘り強いDFで防がれ追加点を入れることができない。59分、名古屋Fの#4小野がタッチシュートを決め4-1とし試合終了。名古屋Fが勝利した。</p>

テクニカルオフィサー	真 喜代司	アンパイア	成田健一
ジャッジ	山本 誠		渡邊道彦

第4試合 A

天理大学ベアーズ 8 $\begin{pmatrix} 0 & - & 2 \\ 2 & - & 0 \\ 3 & - & 0 \\ 3 & - & 1 \end{pmatrix}$ 3 Selrio島根

勝点 20 勝点 7

6 勝 2 分 1 敗 2 勝 1 分 7 敗

2	PC	1
17	シュート数	9

得点	天理大→16分#10石川、19分・36分#6落合大、34分#17福田、45分#19山本、54分#20新井 56分#4山田、60分#23山川
	S島根→4分#7渡辺、15分・58分#17糸原
戦評	<p>Selrio島根のセンターパスで試合が開始された。第1Q4分、S島根が巧みなパス回しでPCを獲得し、#7渡辺がプッシュシュートを決め先制点を挙げ0-1とする。15分には、S島根#6若槻晃がドリブルで持ち込み、ゴール前の混戦の中、#17糸原がシュートを決め0-2とし、2点差をつける。第2Qに入ると、16分天理大学ベアーズの#10石川がタッチシュートを決め1-2とする。更に19分には、天理大#6落合大がプッシュシュートを決め2-2の同点とする。</p> <p>第3Qに入り、天理大の猛攻が続く。34分#17福田がタッチシュートを決め逆転。36分#6落合大がゴール前のこぼれ球を押し込み4-2。第3Q終了間際の45分には、#19山本がスィープでシュートを決め5-2とし、3点差をつけた。第4Qも天理大の勢いが止まらず、54分#20新井が、56分#4山田がシュートを決め7-2としS島根を突き放す。S島根も負けじと反撃、58分#17糸原がタッチシュートを決め1点を返し7-3とする。しかし、天理大は終了間際60分、#23山川がため押しのプッシュシュートを決め8-3とし、天理大が勝利した。</p>

テクニカルオフィサー	西松孝治	アンパイア	児玉茂樹
ジャッジ	蔦木 勝		野澤 達

第1試合 B

福井クラブ 2 $\begin{pmatrix} 2 - 2 \\ 0 - 2 \\ 0 - 0 \\ 0 - 2 \end{pmatrix}$ 6 立命館大学ホリーズ

勝点 11 勝点 20

3 勝 2 分 3 敗 6 勝 2 分 1 敗

1	PC	4
4	シュート数	10

得点	福井ク→2分#9富山、9分#22三谷
	立命館大→6分・9分・51分#1大橋、20分#4木下、23分・49分#8津田
戦評	<p>福井クラブのセンターパスで試合が開始された。第1Q2分、福井クの#9富山がプッシュシュートを決め1-0と先制する。6分立命館ホリーズ#1大橋が同点シュートを決め、9分にも#1大橋がPCからフリックシュートを決めて1-2と逆転する。しかし、福井クもすぐさま#22三谷がリバーシュートを決め同点とする。第2Qは、一進一退の攻防が続く。20分立命館大の#4木下がヒットシュートを決め2-3とする。続いて23分には、立命館大#1大橋が相手のボールをパスカットし、最後は#8津田が押し込み2-4とし、2点差をつける。第3Qは両者とも得点することができない。第4Qに入り、福井クがチャンスを作るが得点することができない。49分立命館大の#8津田がタッチシュートを決め2-5。更に51分には立命館大#1大橋がPCからフリックシュートを決め、2-6とし大きく突き放した。このまま試合は終了。立命館大が勝利した。</p>

テクニカルオフィサー	大橋俊彦	アンパイア	藤原信幸
ジャッジ	遠藤博行		高橋英行

第2試合 B

ALDER飯能 0 $\begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 0 & -1 \\ 0 & -1 \\ 0 & -1 \end{pmatrix}$ 4 診療印刷

勝点 11

勝点 16

3 勝 2 分 3 敗

0	PC	4
2	シュート数	7

4 勝 4 分 1 敗

得点	診療印刷→12分#6村田、21分#1奥谷、34分#15細木、53分#10佐藤広
戦評	ALDER飯能のセンターパスで試合が開始された。第1Qは両者なかなかシュートまで持ち込むことができない拮抗した状態が続く中、AL飯能#12草野がGKと1対1のチャンスを作るが活かすことができない。12分診療印刷の#6村田が、PCからのタッチシュートを決め先制点を挙げ0-1とする。第2Q21分には、診療印刷#1奥谷がGKのリバウンドを押し込み2-0とし前半を折り返す。第3Qに入り、お互いシュート数も増えるが、互いの攻守に阻まれる。その中で、34分診療印刷の#15細木がPCからヒットシュートを決め3-0と突き放す。更に第4Q53分、診療印刷#10佐藤広はPCからフリックシュートを決め4-0とし、4点差をつける。個人技で状況を打開しようとするAL飯能も食らいつつが、エース#11北里の負傷もあり、得点することができず試合終了。4-0で診療印刷が勝利した。

テクニカルオフィサー	大橋 守	アンパイア	近藤聡史
ジャッジ	安田善治郎		西山宏明

第3試合 B

小矢部RED OX 2 $\begin{pmatrix} 1 & -0 \\ 0 & -0 \\ 0 & -0 \\ 1 & -0 \end{pmatrix}$ 0 駿河台大学

勝点 12

勝点 6

4 勝 0 分 5 敗

4	PC	0
11	シュート数	3

2 勝 0 分 5 敗

得点	小矢部R→11分#7高村、56分#6河合
戦評	駿河台大学のセンターパスで試合が開始された。第1Q11分、小矢部RED OXがPCを取得。#6河合がフリックシュートを放つがGKに阻まれる。しかし、そのリバウンドボールを#7高村が押し込み先制点を挙げ1-0とする。第2Qは、両者ともチャンスを活かすことができず得点に至らず。1-0で小矢部Rのリードで前半を折り返す。第3Qもお互い激し攻防が続くがチャンスを活かすことができない。第4Q56分、小矢部Rの#6河合がPCからフリックシュートを決め追加点を挙げる。結果、2-0で小矢部Rが勝利した。

テクニカルオフィサー	大橋俊彦	アンパイア	松原 久
ジャッジ	荻谷和代		穴井蓋司